



ハナミズキ  
千秋病院にて

# 尾張健康友の会 ニュース

発行責任者 尾張健康友の会 会長 上平 安秋  
〒491-0815 一宮市千秋町塩尻字山王7-5  
☎0586-76-8312 FAX0586-76-9424  
ホームページ <https://www.chiaki.com/>

2023年5月 NO.420

2023年3月現在 友の会員数 4,991 (内社員数845)

## 新入職員40人と共に

# より良い病院・施設を 目指します！

春らんまんの4月1日、医師3名を含む40名が尾張健康友会に入職しました。今年度は部長・課長の紹介や、満開の桜を背景にした集合写真撮影など入社式を行なうことができました。式典では、朝井哲二理事長、北島勝仁千秋病院院長、新入職員代表の渡邊羽瑠奈さんがあいさつしました。(8面に新入職員を紹介)



特定健診・がん検診受付中  
健診を受けていきいき元気

いのちの相談所  
5月10日 於のわみ相談所

### 共に手を

### 取り合って

医療法人尾張健康友会  
理事長 朝井 哲二



千秋病院は、地域の皆さんが病院を作ろうとお金を出し合ってくれました。職員や尾張健康友会の会員、地域の一人ひとりの思いにこたえた結果、医療・介護・福祉の行政や地域と連携して、医療介護福祉の複合体となりました。

健康に暮らしたいという想いへは、健診の実施や、友の会の健康を守る取り組みに協同しています。貧富の差でいのちの差別をせず、必要な医療が受けられるよう差額ベッド料金は取らず、無料低額診療事業も行なっています。

医療・介護従事者はいのちを守ることが根本です。大量に人を殺す戦争が正当化されることがあってはいけません。今、戦争の準備を正当化しようとしていることが憲法違反と叫ばれています。憲法を守り、あの頃何を

していたのかと言われなように、共に手を取り合って前に進んでいきましよう。

### 患者、利用者

### のために

千秋病院  
院長 北島 勝仁

私たちの病院、施設が継続できた一つの理由として、常に患者さんと利用者さんのために全力で取り組んできたことが挙げられます。皆さんがこれから職場でいろいろな経験をする中で選択に迷うときに、目の前の患者さんや利用者さんが一番望んでいること、地域の皆さんが期待することは何かと考え、選択しても何となくと思えます。

先日、第三者機関の病院機能評価を受け、患者さんに寄り添う医療、チーム医療が実施されていることに対して、高い評価をいただきました。しかしながら、できていないこと、やれていないことがあることも事実です。良い病院、より良い施設を目指して、一緒に



に課題に取り組んでいきましょう。

### 全力を尽くします

新入職員代表  
看護師 渡邊 羽瑠奈



さわやかな春の風が吹く今日の良き日に、私たち新入社員のために、このような盛大な入社式を催していただき、心より感謝いたします。

コロナウイルスによる社会の複雑な変化とともに、医療も大きな変化を余儀なくされました。看護師を目指す環境にも厳しいものがありました。地域と結びついた医療サービスの充実などの課題を考えると、大変な思いを感じることもあります。

が、この道を志した希望や期待を失うことなく、立ち向かう思いを新たにしています。

私は、千秋病院の奨学生としてさまざまな経験をさせていただきました。国試対策の勉強会に参加すると、いつも看護師さんが自分のことかのように勉強の仕方を教えてくださいました。患者さんだけでなく職場の仲間も大切にしている千秋病院の一員となって働きたいと感じました。

晴れて職員としてスタートできる喜びを光栄に思います。これは新入職員全員に共通する気持ちだろうと思います。これからの毎日に誇りを持って働くことができます。この思いを十分にかみしめながら、尾張健康友会グループに、そして地域に貢献できるように、全力を尽くす覚悟です。

## 新任医師紹介



内科 奥村 浩二さん

専門は内科、消化器科です。消化器以外の分野でも、幅広く担当していきます。新しい環境に早く慣れて、病院に貢献したいと思います。よろしくをお願いします。



リハビリテーション科 長谷川 真基さん

13年ぶりに千秋病院の常勤として働かせていただくことになりました。「からだ」と「こころ」のケアのお手伝いができるよう精いっぱい頑張ります。(7面「ひと」参照)



歯科 伊藤 正樹さん

地域包括ケアシステムを行なっている尾張健康友会グループの一員として働きたいと思えます。皆さま、よろしくお願いいたします。

## ひびみ

産業革命以後、科学技術は驚異的に進歩し、生産量も飛躍的に増

大。約10億人だった人口は現在80億人にも。人口増加は食料・水・エネルギーの消費増大につながり、不足は危機を超え、地球環境にも大きな影響を及ぼしている▼自然に生きるものは全て、二酸化炭素や水など必要なものを大気と地球から借り、お日さまの力もいただいて成長に必要な物質を作り、子孫を残してきた。生涯を終えれば借りたものは大地に返し、徐々に進化して。自然は偉大な化学工場だ▼人類も自然を構成する一員だが、産業革命を境に「より快適に・より便利に」を追い求め、自然の掟に逆らった。結果として、天災という自然からの逆襲は年々大規模化している▼自然界では微生物をはじめ無駄なものはないとしてなく、それぞれが役割を担い、助け合って自分たちを守るといいう戦争や分断・対立に未来はない。自然の営みに謙虚に学び、自然と共に生きる輪の中でこそ未来は開ける。人類には、その一員として役割を果たす責任があるのではないだろうか。(え)